

授業科目 助産学実習Ⅰ

【担当教員名】 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、 山口 典子、浅島 宏美 他		対象学年 4	対象学科 看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期 前期	必修選択 選択
		単位数 1	時間数 45
【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
◎	◎	◎	◎
【概要】 妊産褥婦、胎児、新生児およびその家族に対して、助産の基礎知識、技術、態度を統合して活用し、助産過程を展開することによって助産に必要な基礎的能力を養う。			
【学習目標】 1. 助産過程を用いて必要な看護を考察し、実践する。 2. 継続受け持ちケースの妊婦健診ならびに保健指導を実践する。 3. 産褥期および新生児期（退院後も含む）の保健指導を実践する。			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1～	実習施設において、妊娠期（胎児期）から産褥期、新生児期まで1例を継続して受け持ち、助産過程を展開し看護を実践する。 継続受け持ちケースの妊婦健康診査と保健指導 継続受け持ちケースの産褥期・新生児期の保健指導	1、2、3 1、2 1、3	担当：下山 博子 他 担当：下山 博子 他 担当：下山 博子 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美	日本看護協会出版会
	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子	日本看護協会出版会
	助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子	日本看護協会出版会
参考書	助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ	堀内成子	医学書院
その他の資料	助産学実習要項		
【評価方法】 看護実践内容（保健指導評価表）50%程度 実習記録（助産過程評価表）50%程度		【履修上の留意点】 実習内容の詳細については、実習オリエンテーションにて確認すること	